

パレット



令和元年 11月28日(木) 第9号

○ 稲武野外学習を終えて

去る11月11日から3日間、2年生にとって大きな行事の1つである稲武野外学習へ出かけました。初日の飯ごう炊さんでは激しい雷雨に見舞われてしまいましたが、残る2日間は天気も回復し、予定していた通りの活動を行うことができました。

生徒たちはしっかりと活動し、大きなけがなどもなく無事に帰ってくることができました。行動の切り替えなどについて注意されてしまうこともありましたが、仲間を思いやって行動したり、自分の役割でない仕事に積極的に取り組んだりする姿も多く見られ、成長を感じられた山の生活でした。



この稲武での生活を通して、生徒たちはそれぞれに貴重な経験を行うことができたようです。この経験を、今後の様々な活動に生かして行ってほしいと思います。

保護者の皆様には、生徒たちの活動を支えていただき、本当にありがとうございました。

○ 個人懇談会について

12月5日(木)から11日(水)にかけて、個人懇談会を行います。お子様の生活の様子やこれからの過ごし方などについて話し合い、有意義な時間にすることができればと思います。お忙しい中ではありますが、ご予約をお願いします。なお、懇談会中は午前中授業となり、生徒たちは昼食をとらずに下校となります。控え室は2階のランチルームです。控え室には、中学校3年間の学習のまとめができる進路教材の見本を置いておきますのでご覧ください。2月上旬頃に、希望者に販売する予定です。

○ 12月の行事予定

日	曜	帯	行事	ランチ	部活動
2	月	集	集会	LR:4・5・6・7	○
3	火		12組校外学習	LR:4・5・6・7	○
4	水		⑤⑥薬物乱用防止教室 生徒委員会	LR:4・5・6・7	○
5	木		木①～④ 個人懇談会(午後)	×	再15:30
6	金		金③～⑥ 個人懇談会(午後)	×	再15:30
9	月		月①～④ 個人懇談会(午後)	×	再15:30
10	火		火①～④ 個人懇談会(午後)	×	再15:30
11	水		月⑤⑥火⑤⑥ 個人懇談会(午後)	×	再15:30
12	木			ボックス	○
13	金			ボックス	○
16	月		水①～⑥ 生徒議会	ボックス	○
17	火		骨密度検査	ボックス	○
18	水		月①～⑥ 3送会実行委員リーダー一会<1>	ボックス	○
19	木		木①～④金⑤⑥ 部活動部長会(送る会関係)	ボックス	○
20	金		金①② ③学年集会④学活⑤大掃除	ボックス	○
23	月	特	終業式	×	再13:30



○ 「稲武を終えて」 川柳・作文 傑作選

- 1組 思い出と 寂しさ両手に 慣れた道 (さん)
風がふき 紅葉が舞って 蝶のよう (さん)
- 2組 凍える手 汚れに苦戦 なべ洗い (さん)
ハイキング 武持ちも息も アップダウン (さん)
- 3組 つらい山 応援あって 頑張れた (さん)
夜起きて 川の流れに 耳よせる (さん)
- 4組 先生が 通るたびに 寝たふりだ (さん)
赤色の 絨毯広がる 稲武の道 (さん)
- 5組 目を閉じて 耳をすませば 川の音 (さん)
おはようど 言わずに君は ウルトラスウル (さん)
- 6組 紅葉と みんなの鼻が 染まる赤 (さん)
寝る間際 虫が飛び立ち 飛び起きる (さん)
- 7組 いも食えば おなら出るなり 就寝時 (さん)
秋ふかき 山道のぼる すずの列 (さん)

ハイキングやナイトレクは(略)始まってみると男も女も関係なく一緒に考えて一つの答えを出していました。私は今まで“男女で一緒に”なんてあまりないだろうと思っていたので、この時始めて、“考えたり協力し合ったりすることは男女は関係ない”ということ学びました。稲武でこのイベントが行われなければ知ることができなかったことを学ぶことができ、とても嬉しかったです。これから協力し合う場面がでてきた時は、どんな人とも関係なく“一緒に協力しよう”と思いました。(1組 さん)

稲武に行くまで、無事に忘れ物なくきちんと行けるかとても心配で不安だったけれど、仲間の助けがあって、やるべきことはやれたし、楽しめてよかった。飯ごう炊さんも、あまり包丁を使わない私を助けてくれ、こうやって切るといい、とアドバイスもくれました。いきなり雨が降って、傘をおいてきた私と一緒に歩いてくれました。稲武を通して、仲間の大切さを学びました。これからは、助けられるばかりではなく、自分からも助けてあげられる人になりたい。(2組 さん)

稲武野外学習を終えて、協力することはすばらしいことだと思った。(略)一人だときけないこともたくさんあるけれど、みんなでやるとできることがあると知った。あと、裏で動いてくれている人がいて稲武が回っているんだと感じた。実行委員にしてもそうだし、班ごとの係も、だれかがやってくれないとだめだと思った。そして、自分のできることは積極的にやっていきたいと思った。この経験を後の生活に生かしていきたいと思った。最高の稲武になって本当によかった。(3組 さん)

自分は初めは生活が不便なところに行きたくないと思っていた。しかし、不便な状況で生活することで、いつも身の回りにあるものがない中だと、それがどれだけありがたいことかわかったり、電子機器を使うことができないので友達とコミュニケーションをとって盛り上がったたりした。(略)当たり前前物があるからこそきちんとした生活ができているのだと実感した。名古屋に帰るころには、まだここにいたいという気持ちが出てきた。何が特別なものがそこにはないものの、人を引き込んでいく稲武、仲間と協力してできた稲武は大成功だった。(7組 さん)

私はこの3日間、周りの人たちの優しさをおおいに感じた。手がかじかんで野菜を切るのが大変だったとき、1人でいたとき、協力して頑張ろうとしているとき、助けてほしいなと思っていたとき、優しい声をかけて手伝ってくれたみんながいて、あ、こんなにもみんなと協力するって大事なんだ、いいことなんだと、あらためて感じる事ができた。(略)今回学んだ優しさのありがたさを、次はみんなに感じさせられるようになりたい、そう思った。
(4組 さん)

稲武を終えて僕はいろいろな友達のいい所を知れた。(略)ぐちゃぐちゃになっているスリッパを整頓する人、みんなが食べ終わった食器を率先して運ぶ人、次の動きをみんなに伝える人、自分が使った分の布団以外もたたむ人など、たくさん自分から率先してやる人がいた。自分の中で「自分がやる分は終わった。あとは誰かがやってくれるからいいや」という気持ちが少しあったかもしれないなと思った。今後、みんなで活動する機会があったら、この経験を生かして率先して取り組んで生きたい。
(5組 さん)

私は(略)キャンプファイヤー実行委員になりました。(略)私も内気なので率先して進めるということではできませんでした。(略)このままだと当日に失敗するかもと私は思ったので、本当に最後の実行委員の時間で思い切って動いてみると、みんなも乗ってくれて、いろいろな案を出してくれたりしたので、本当にすごく嬉しかったです。そして、当日までに間に合って、ゲーム本番のとき、みんな笑ってくれて楽しんでくれたので、さらに嬉しかったです。これからもこんな経験をもっと増やしたいので、最初から積極的に取り組みたいです。
(6組 さん)